

1 . 地震活動に関する資料

3 頁 2006 年 1 月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

9 日 愛知県東部	深さ 41km M3.9
11 日 神奈川県西部	深さ 20km M3.4
26 日 神奈川県西部	深さ 20km M3.0

南関東における M 3.5 の地震は、

14 日 茨城県南部	深さ 52km M4.3
16 日 茨城県沖	深さ 49km M4.0
21 日 鹿島灘	深さ 46km M3.9
22 日 茨城県南部	深さ 42km M3.5

その他の地域で目立った地震は、

1 日 福井県嶺北	深さ 10km M4.1
-----------	--------------

また、駿河湾の深さ 11～13km で 1 日から 4 日にかけて最大 M1.8 のまとまった活動があった。静岡県西部の深さ 18～20km で 1 日から 5 日にかけて最大 M0.9 のまとまった活動があった。新島・神津島近海の深さ 11～14km で 7 日から 10 日にかけて最大 M2.2 のまとまった活動があった。伊豆大島近海ではしばしばまとまった活動があり、最大 M は 1.8 であった。山梨県東部（富士山）では低周波地震がしばしば発生し、最大 M は 0.8 であった。25 日から 31 日にかけて伊豆半島東方沖でまとまった活動があった（最大は 26 日 M1.1）。

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震（M7.4）の M4 以上の余震はなかった。

4 頁 2006 年 2 月の活動（1 日～25 日）

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震はなかった。

南関東における M 3.5 の地震は、

3 日 茨城県沖	深さ 62km M5.9
3 日 茨城県沖	深さ 53km M4.9
3 日 茨城県沖	深さ 60km M4.9
3 日 茨城県沖	深さ 63km M5.0
3 日 茨城県沖	深さ 63km M5.3
6 日 茨城県南部	深さ 55km M4.2
12 日 千葉県東方沖	深さ 39km M4.0
13 日 千葉県北西部	深さ 70km M3.9
14 日 茨城県南部	深さ 52km M3.6
18 日 茨城県南部	深さ 68km M3.5

21 日 房総半島南東沖 深さ 50km M4.1
22 日 千葉県北西部 深さ 71km M4.1

その他の地域で目立った地震は、

16 日 岐阜県美濃中西部 深さ 14km M4.4
18 日 岐阜県美濃中西部 深さ 13km M4.1

また、静岡県中部の深さ 20～22km で 5 日に最大 M0.9 のまとまった活動があった。同じく静岡県中部の深さ 26～29km で 5 日から最大 M1.2 のまとまった活動が続いている。1 月には伊豆大島の西でまとまった活動があったが、2 月に入ってから伊豆大島内に活動域が移り（最大 M は 1.4）収まった。21 日から伊豆半島東方沖でまとまった活動があった。（26 日までの最大は 25 日の M2.8）
2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震（M7.4）の M4 以上の余震はなかった。

5 頁 東海地域の地震活動指数

固着域：地殻内の短期はほぼ平常(6)だが、中期は高い(8)。フィリピン海プレート内は短期・中期ともにほぼ平常(5～4)。
愛知県：地殻内の短期はほぼ平常(5)だが、中期はやや高い(7)。フィリピン海プレート内は短期・中期ともにやや低い(1～2)である。
浜名湖：西側では短期・中期ともに平常(4)。東側では短期・中期ともにやや低い(2～1)。東側では短期で見ると 2000 年半ばから低めの指数(1～4)の変動を繰り返し 2 になっている。全域では短期・中期ともにやや低い(2)。
駿河湾：短期・中期ともにほぼ平常(4～6)。

6～7 頁 固着域

(1997/01/01～2006/02/22 M 1.1)

[地殻内]

特段の変化なし。

[フィリピン海プレート内]

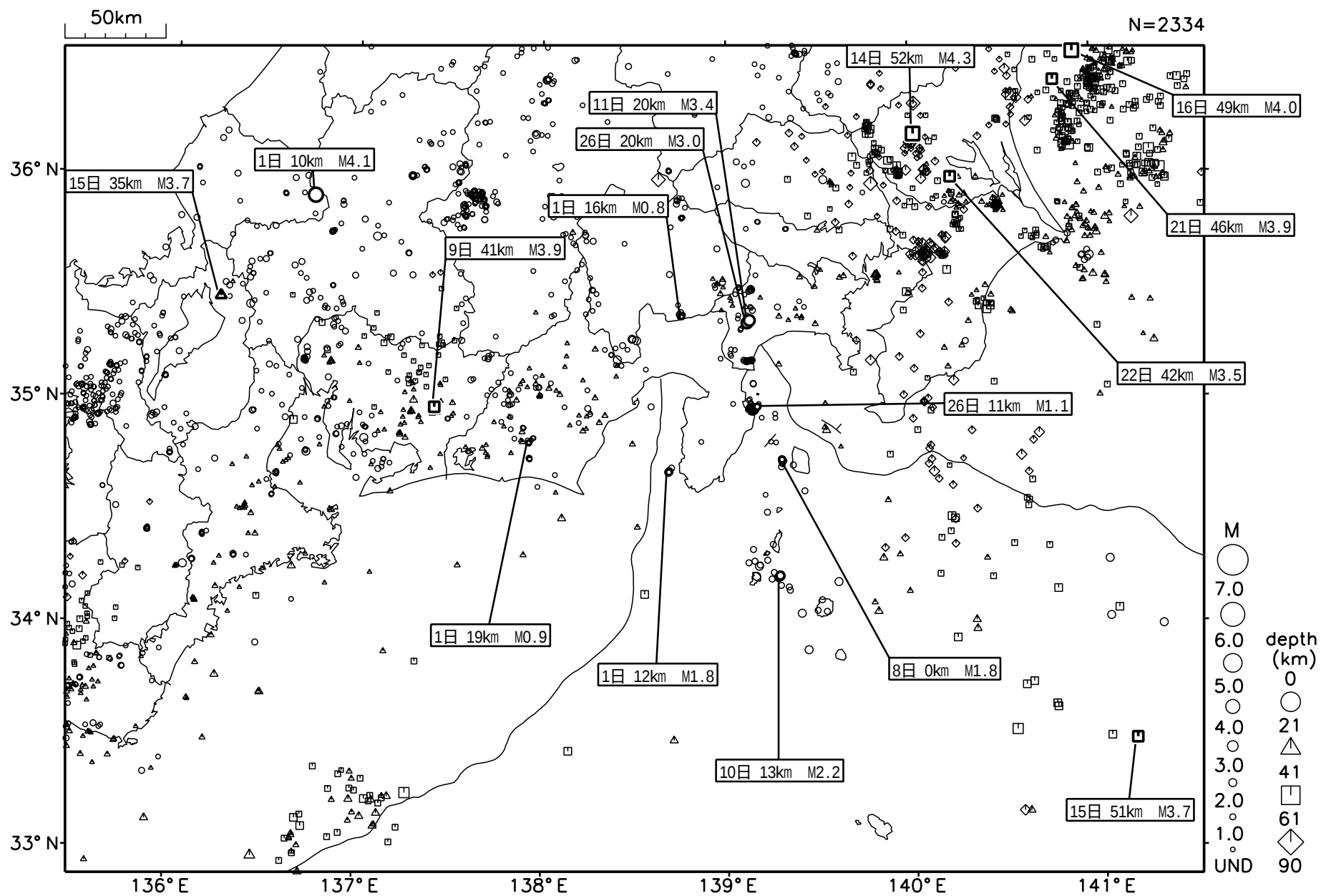
特段の変化なし。

8 頁 浜名湖 (1995/01/01～2006/02/22 M 1.1：フィリピン海プレート内)

[東側] 2000 年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が続いている。最近では 2003 年 6 月 5 日 M3.9、2004 年 5 月 6 日 M2.8 が目立つ。

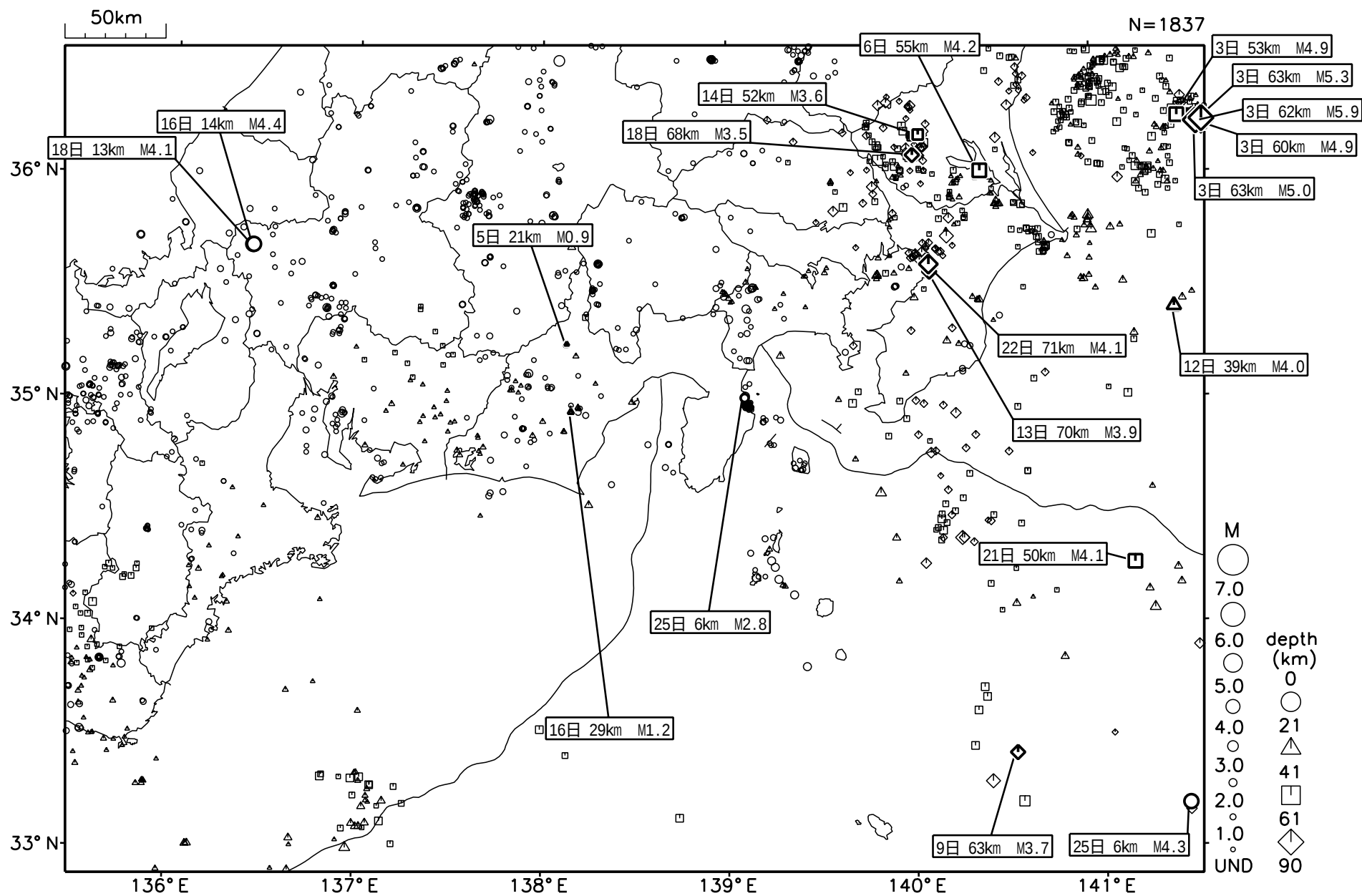
[西側] 2003 年半ばから継続していた西部のクラスタの活動が低下している。

東海・南関東地域の地震活動 2006年1月



気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動 2006年2月(1日～25日)



気象庁作成

東海地域の地震活動指数

(クラスタを除いた地震回数による)

2006年 2 月22日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	6	5	5	1	4	2	2	4
短期地震回数 (平均)	9 (6.18)	7 (5.83)	5 (4.37)	6 (12.63)	1 (2.38)	2 (6.08)	1 (3.70)	6 (6.18)
中期活動指数	8	4	7	2	4	2	1	6
中期地震回数 (平均)	30 (18.53)	17 (17.50)	19 (13.11)	30 (37.90)	5 (4.76)	7 (12.15)	2 (7.39)	16 (12.37)

* Mしきい値：

M≥1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M≥1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離がΔr以内、発生時間差がΔt以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

Δr=3km、Δt=7日：固着域、愛知県、浜名湖

Δr=10km、Δt=10日：駿河湾

* 対象期間：

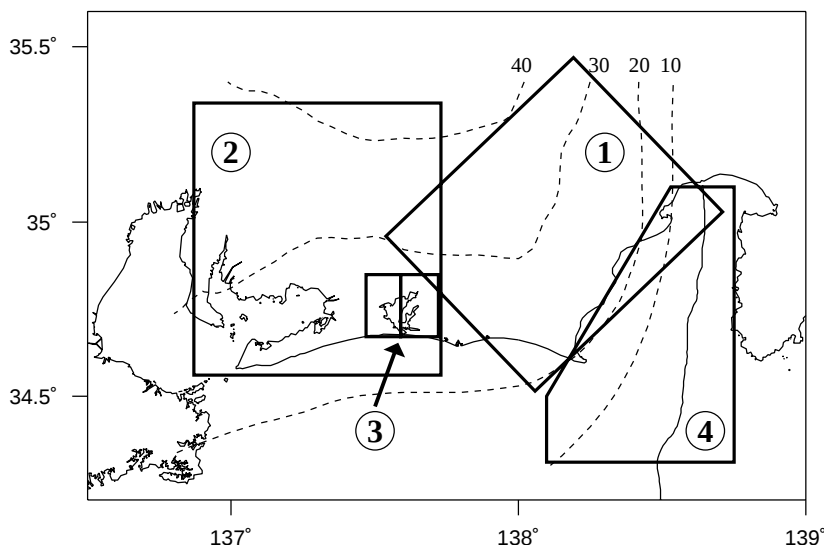
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

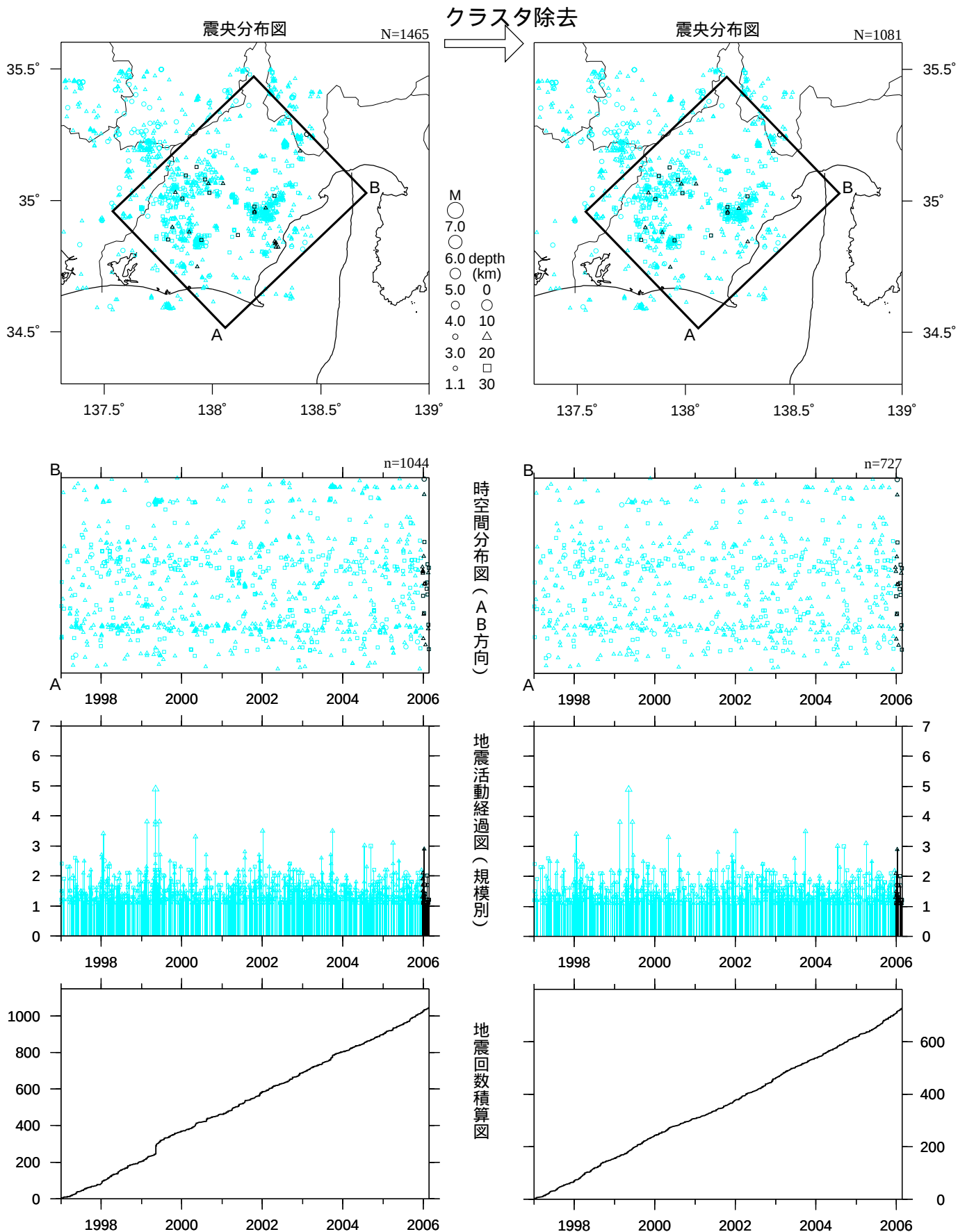
1991年－2000年（10年間）：駿河湾



* プレート境界の等深線を波線で示す。

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	
5	15	
4	40	平常
3	15	↓
2	10	
1	4	
0	1	少

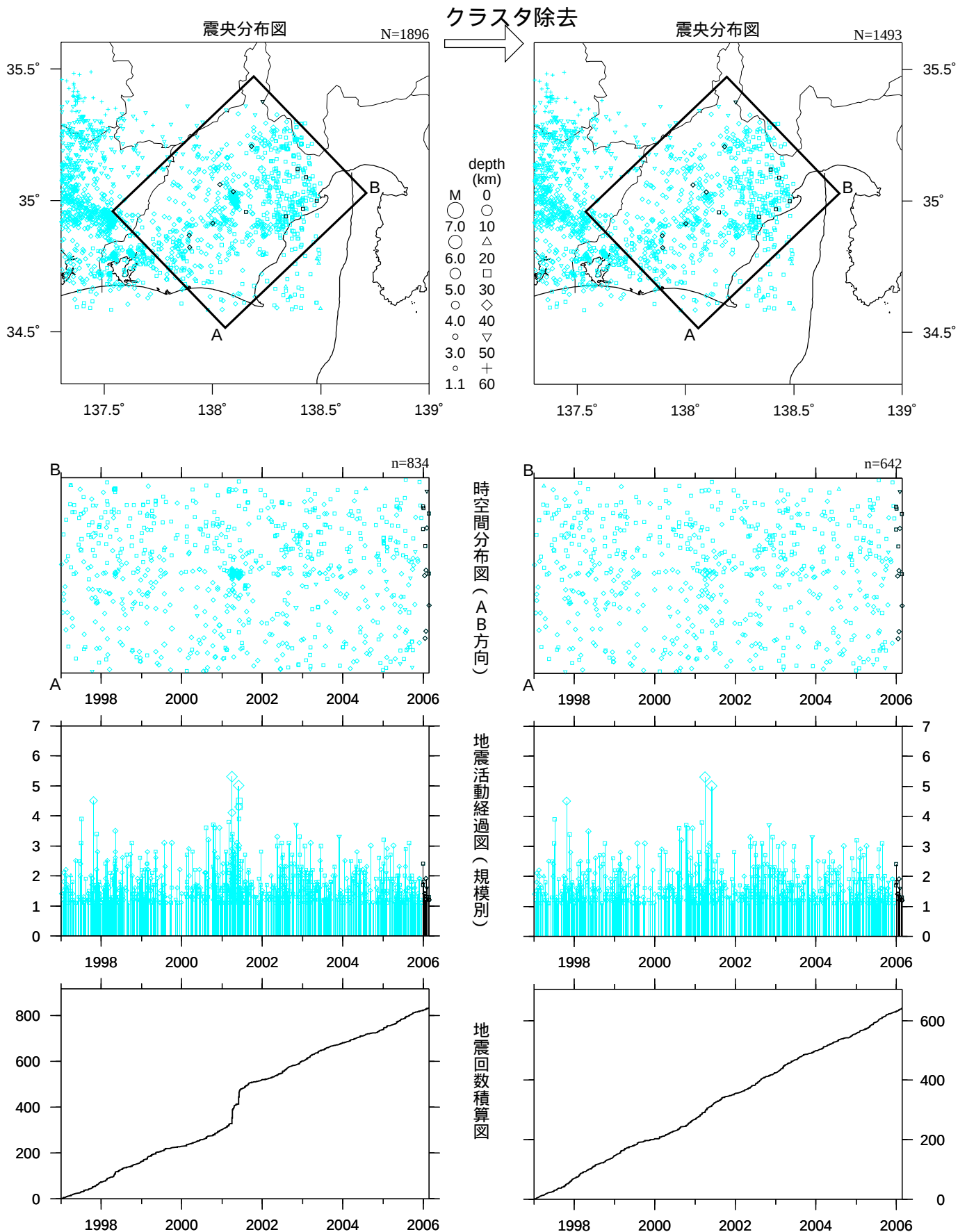
固着域（地殻内） 1997/ 1/ 1~2006/ 2/22 M ≥ 1.1



* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
最近60日以内の地震を濃く表示

固着域（フィリピン海プレート内）

1997/ 1/ 1~2006/ 2/22 M ≥ 1.1

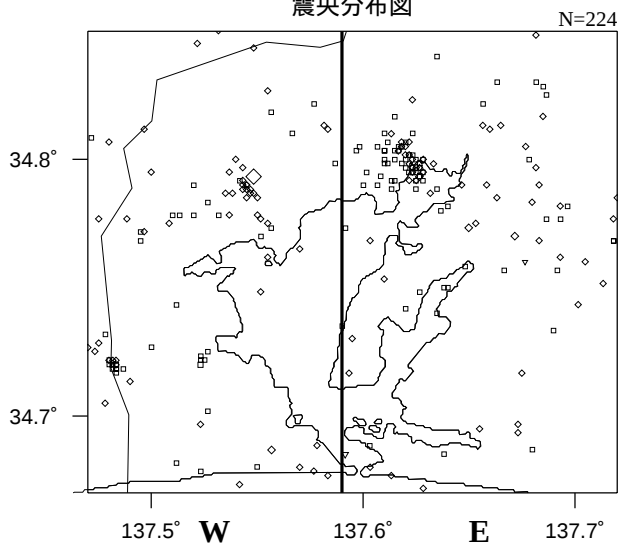


浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2006/ 2/22 M ≥ 1.1

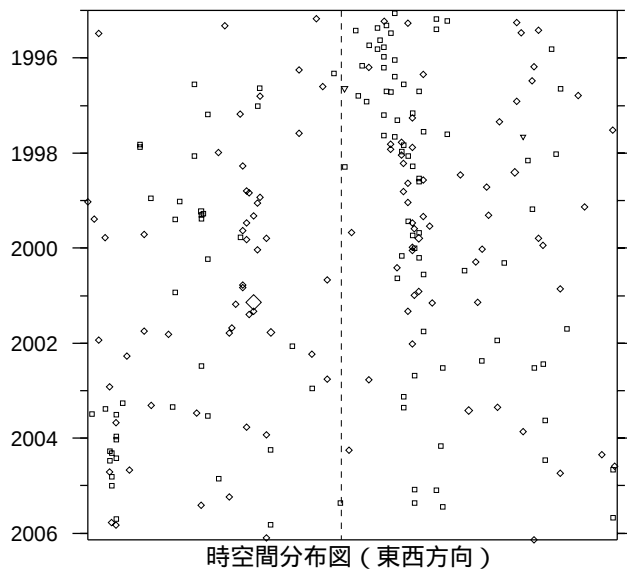
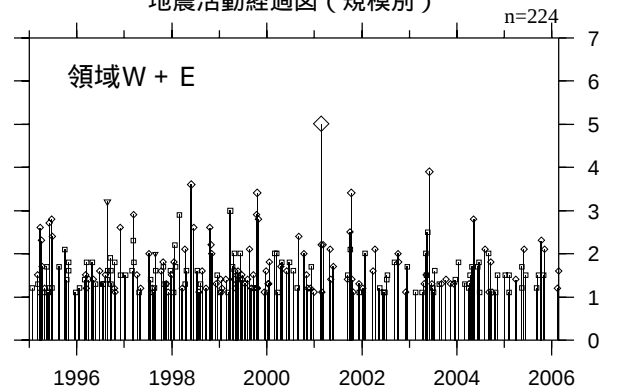
* クラスタ除去したデータ

震央分布図

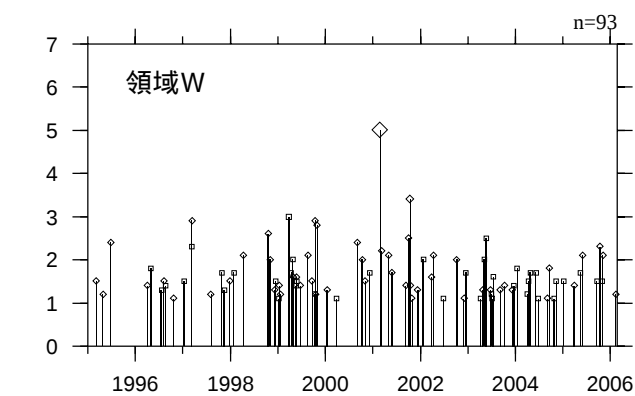
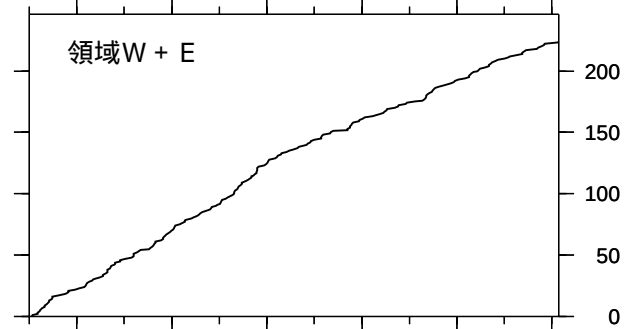


depth (km)
M
○ 0
○ 10
△ 20
○ 30
○ 40
○ 50
○ 60
+ 60

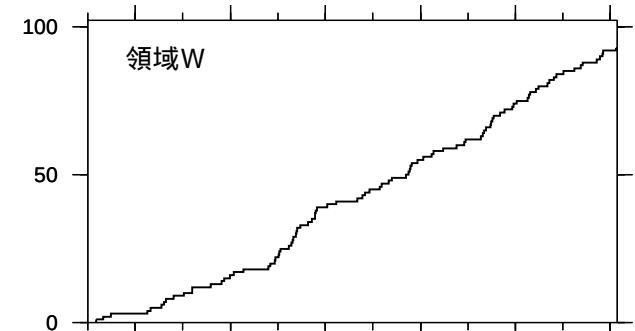
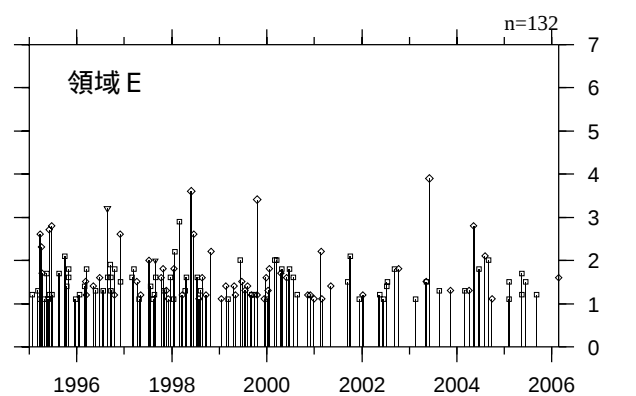
* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
地震活動経過図（規模別）



地震回数積算図



地震活動経過図（規模別）



地震回数積算図

